【授業科目】四日市市の暮らしと文化　Life and Culture in Yokkaichi

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
柴田 英治、多次 淳一郎、森 智広 清水 政宏、原 昌弘、吉澤 恵美 樋口 陽子	１年次 前　期	必　修	1	１５	講　義	あり	巻末 掲載	可

授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／本学は公私協力方式で設置された大学であることから四日市市とのつながりは深い。市政１２０年余の歴史がある四日市の文化、自然、産業、環境、交通、観光について学ぶ。グループワークを通じて、暮らしの場としての四日市市の特徴を自ら調べ、共有し理解を深める。講義はオムニバス形式で四日市市職員や医療職等を招き、展開する講義である。※実務経験を持つ教員が授業を進める。 課題に対するフィードバック方法：レポート・リフレクションペーパーなどについて、適宜、授業等でコメントする。
実務経験に 関する授業内容	医師の臨床経験をもつ教員が、看護師として必要な地域（四日市市）で暮らす人々の生活の実態と文化的背景に伴う生活習慣と市民の健康について、四日市市の行政担当者から提供される資料に基づいて健康政策とその成果等を交えながら指導していく科目である。
授業の 位置づけ	本学のディプロマポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、人間として自己の成長に努め、専門職としてのキャリアの基礎を形成することができる」の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	①四日市市の歴史と歴史に関連して培われた文化について説明できる。 ②歴史と文化から生まれた地場産業、高度経済成長期に発展した産業と市民の健康に及ぼした影響について説明できる。 ③四日市市の公衆衛生と医療の現状と課題、今後の展望について説明できる。 ④上記①～③の知識をふまえ、四日市市の様々な地域の環境と人々の暮らしについて調べ、その特徴について発表できる。
時間外学習に 必要な内容・時間	第１回～8 回事前学習：各回に関係する文献を読んでおく。(各 30 分) 第１回～8 回事後学習：授業で学んだことから関係する文献を読み、必要に応じて学びのレポートとして課題を課す。(各 30 分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1 回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	第１回　四日市市の政策について	森市長
	第２回　四日市市の歴史と文化について	清水
	第３回　四日市市の地域特性と人々の暮らし①	柴田、多次
	第４回　四日市市の産業について	原
	第５回　四日市市の保健所について	吉澤
	第６回　四日市市の医療・看護について	樋口
	第７回　四日市市の地域特性と人々の暮らし②	柴田、多次
	第８回　まとめ・発表	柴田、多次

評価方法 評価基準	グループ課題（資料作成、発表など）40%、定期試験 60%。		
教科書	なし	参考書等	講義の中で興味深い書籍、文献を紹介する。
学生への 助言等	本学は四日市市との公私連携によって運営され、学生も実習施設、学費、その他様々な面で支援を受けている。本学の周囲に次々に IT 産業の工場が建設されていることからも四日市市の産業の発展を感じながら看護・医療を学んでいるといっていいだろう。四日市市の医療も産業もこの地の歴史や文化と切り離すことはできない。人々が健康に生活し働くことの重要性を認識し、疾病の発生要因、健康の阻害要因とともに人々の健康を保持増進させるために何ができるのかについてこの授業を通じて自ら考えてみることが重要である。		